

米国ニューヨーク補習授業校幼児部における 日本語・日本文化教育の現状と課題（Ⅱ）

ブラック妹尾祐美子（ニューヨーク補習授業校ロングアイランド校）
北川歳昭（教育心理学科）

A report about teaching method for Japanese language and culture in early childhood
education at Japanese Weekend School in New York（Ⅱ）

Yumiko SENOO BLACK（Japanese Weekend School in New York） and
Toshiaki KITAGAWA（Department of Educational Psychology）

抄 録

多民族・多文化国家である米国の大都市ニューヨークに設置されている日本語補習授業校幼児部（幼稚部）担任の立場から、第二言語としての日本語教育、地域特性や環境特性による日本文化の浸透の難しさ、異文化の中での日本の幼児教育について、事例を含めて報告する。著者らはすでに前報告でニューヨーク補習授業校の概要と特色を紹介したが、本稿では、補習授業校の子ども達の実例事例を紹介し、日本語・日本文化を第二言語・異文化として育つ日系幼児の現状を分析するとともに、異文化の中で日本語幼児教育を実践する上での目標と課題に論及する。

キーワード：日本語補習授業校幼児部，異文化としての日本文化教育，
海外子女のための日本語幼児教育，異文化理解幼児教育